

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
経営学B		企業の成長・国際化，そして最近の動向		寺本 直城	1年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	経営学・企業・経営管理			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		経営学A				
講義の目的	経営学A・Bは，経営学の初学者が，経営学の基礎知識を習得することを目的としている．その中でも，経営学Bでは，講義およびグループワーク等を通して，コーポレートガバナンスやCSR，国際経営などの経営の実質的な分野についての基礎知識を習得することを目的とする．					
到達目標	①経営学の基礎知識を身に付け，②経営学の中でも興味がある分野を発見し，③今後の学生生活で自分が専門としたい分野を見極めたり，進路決定の参考にできるようになる					
講義内容	の授業では，経営学の主たる対象となる「企業」が持つ多様な側面として，企業の成長・国際化，そして最近の動向の問題を様々な視点から議論を行う．企業といっても，中小企業から大企業，ベンチャー企業，多国籍企業など様々な形態があり，さらにその目的なども多様である．そういった企業の多様な側面について，その動きの実質的な動きに着目する．					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	イントロダクション	経営学Bの説明			
	第2講	会社の所有と支配	会社を所有することと支配することの意味の違い			
	第3講	日本企業の所有と支配	日本企業は誰が所有・支配してきたか			
	第4講	米国企業の所有と支配	米国企業は誰が所有・支配してきたか			
	第5講	企業所有と支配の日米比較	所有と支配の形態の違いによる日米の経営比較			
	第6講	日本的経営論	日本ならではの経営手法			
	第7講	中小企業論	日本の中小企業の基礎知識			
	第8講	ベンチャービジネス論	大企業に挑む企業の特徴と方法			
	第9講	イノベーション論	社会・企業を支えるイノベーション			
	第10講	国際経営論	国際時代の経営学			
	第11講	CSR論	企業の社会的責任			
	第12講	NPO論	利益を求めない企業			
	第13講	ソーシャルビジネス論	社会問題を解決する企業			
	第14講	BOPビジネス	世界の貧困層を助けるビジネス			
第15講	経営学Bのまとめ	経営学Bの講義の総括				
指導方法	授業は，基本的に板書やパワーポイントを用いた講義形式で行う．授業中にアクティブ・ラーニングの一環を用いて，受講生同士または教員を含めてグループワークを行う場合がある．授業には，必ずノートを持参し，講義内容やディスカッション内容をメモすること．					
事前学習	毎回講義終了時に次回の講義につながるクイズを出題するので，それについて考えたり，調べたりしてこよう．具体的には，インターネットや書籍を用いて1時間半程度を目安に予習してこよう					
事後学習	講義ノートをしっかりまとめるという作業を行うこと．ノートをまとめる作業により講義を深く理解することができるようになる．具体的には授業時間と同等の1時間半程度を目安に行うこと					
成績評価方法	本試験（筆記試験）70%，平常点（リアクションペーパーの質）30%					
テキスト	テキストは用いない．					
参考書籍						
特記事項	経営学A・Bは1セットとして履修することを強く推奨する．					